



平成21年2月2日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員総務部長 弓削 英昭
(TEL. 042-643-6835)

当社株式の時価総額が6億円以上になったことについて

当社株式は、平成21年1月において月間平均時価総額及び月末時価総額が6億円以上となり、東京証券取引所上場廃止基準に該当しないこととなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成20年9月の月末時価総額が10億円未満となり、東京証券取引所上場廃止基準に該当いたしました。その後、3ヶ月間の適用停止期間を経て、平成21年1月より平成21年12月までの上場廃止基準は6億円未満となっておりますが、当社株式は、平成21年1月の月間平均時価総額及び月末時価総額が6億円以上となりました。

この結果、当社株式は東京証券取引所上場廃止基準に該当しないこととなりました。

(ご参考)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| ① 平成21年1月の月間平均当社株式時価総額 | 1,104,383,470円 |
| ② 平成21年1月末(1月29日)現在の当社株式時価総額 | 1,065,321,675円 |
| (1月末終値75円×1月末上場株式数 14,204,289株) | |

2. 今後の見通しについて

今後の業績及び事業の展開につきましては、厳しい経済環境の中ではありますが、これまで取組んできた既存店舗の営業力強化施策をさらに推し進めてまいります。

ファッション事業ではLPC(ラブ・プラス・クラブ)カードによる顧客データを活用した、新規のお客様や前回のご利用から一定期間足の遠のいていらっしゃるお客様へのセールス・プロモーションなど、効率的な販促策を実施し、また、重点商品の販売キャンペーンを実施するなど高付加価値商品の販売強化を推進し利益の確保に努めます。

一方、家電事業においては、オール電化関連商品や太陽光発電システムへの取組み、地域・顧客密着戦略による競合店との差別化策など、安定した収益の確保に努めます。

店舗戦略についても、新規出店を積極的に行なっていく方針ではありますが、現状の厳しい市場環境も踏まえ、当面は慎重に検討してまいります。

なお、時価総額については大変ご心配をおかけしましたが、3ヶ月の適用停止期間中及び平成21年1月の各月間平均時価総額及び各月末時価総額とも10億円以上となっております。今後も全役員一丸となり、業績の向上に向けた営業力強化施策を推し進め、東京証券取引所での上場を維持するべく努めてまいります。

株主、投資家の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上